

21-9 男女共同参画推進専門委員会議事概要

日 時 平成22年1月26日(火) 9:20～10:10

場 所 総合研究棟Ⅱ 第2会議室

出席者 後藤理事、小川学長補佐

江成、中島、大西、富田、松村、門脇、花見、石阪、水落、中西、鈴山、総務部長

◎ 前回議事概要の確認

後藤理事から、事前にE-mailで確認した21-8男女共同参画推進専門委員会議事概要については配付資料のとおり記録にとどめた旨の報告があり、了承された。

I 検討事項

1. 男女共同参画に関する報告会及び講演会の開催について(資料1)

・男女共同参画 報告会&講演会 「地域活性化策としてのWLBー大学が拠点ー」

鈴山コーディネーターから、「資料1」に基づき、1月29日に開催する「男女共同参画 報告会&講演会」の準備状況、当日のプログラム及び役割分担について説明があり、検討の結果、了承された。なお、プログラムの進行の詳細については、分担毎に打合せを行う旨連絡があった。

2. 育児短時間勤務制度の導入について(資料2)

制度整備WG大西主査及び職員課長から、「資料2」に基づき、育児短時間勤務制度の概要及び規程案について説明があり、検討の結果、了承された。

◇主な意見

○看護師については夜勤のこともあり、4月1日から導入されるのであれば制度の利用に伴う勤務配置の調整が急がれる。

●規程案の文言修正と関連規則等の改正案の整備を行い、役員打合会、部局連絡会議、役員会にて審議の上、年度内に制定する予定であり、夜勤等の勤務態勢の調整は準備を進めて欲しい。

3. 「平成21年度男女共同参画推進委員会報告書」について

鈴山コーディネーターから、委員会活動報告書の作成について説明があった。報告の主な内容は委員会活動と意識調査の分析結果であるが、委員会活動報告の中で、3つのWGの取り組みについて報告いただきたい旨提案があり、検討の結果、了承された。

◇主な意見

●本学の男女共同参画の2つの柱の一つである「女性研究者支援」の部分について、女性研究者支援室の活動報告の要約を掲載してはどうか。

●第1期中期目標期間の最終年度のため、印刷・製本に伴う経費の執行は年度内に行わなければならない。

4. 平成22年度活動計画について

後藤理事から、来年度の活動計画の策定について提案があり、意見交換を行った。

◇主な意見

- 7月の育児・介護休業法の改正に伴い、育児休業関係規程の見直しと改正を行う必要がある。
- 一般事業主行動計画について、早急に計画内容を整備し公表する必要がある。

5. その他

な し

II 報告事項

な し

以 上